

平成 27 年度特別支援学校教員資格認定試験問題（第 1 次）

教職に関する科目

（問題 1 ～ 問題 30 全 30 問）

時間 12 : 30 ～ 14 : 00

（受験上の注意）

- (1) 問題冊子は表紙を除いて 27 ページです。
- (2) 監督員の「始め」の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- (3) 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄の該当する○をていねいに塗りつぶしてください。
- (4) 解答用紙に氏名、受験番号を記入し、科目名と受験番号の該当する○をていねいに塗りつぶしてください。
- (5) この試験の解答時間は、「始め」の合図があってから、90 分です。
- (6) 試験開始後 30 分間は、退室を認めません。  
30 分経過後に途中退室する場合は、解答用紙をそのまま机の上に残して退室してください。  
問題用紙は持ち帰ってください。
- (7) 監督員の「やめ」の合図がありましたら、解答を直ちにやめ、解答用紙が回収されるまで、着席したまま待っててください。
- (8) 問題用紙の余白は、下書きに使用しても差し支えありません。

問題 1 次の文章は、国連「障害者の権利に関する条約 (Convention on the Rights of Persons with Disabilities)」(2006 (平成18)年12月13日に国連総会にて採択)の「第24条 教育」第2項の条文である。同条約は日本では2014 (平成26)年1月20日に批准され、2月19日に発効している。  
に入る語句の組合せとして正しいものを、下の解答群アからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

2 締約国は、1の権利の実現に当たり、次のことを確保する。

- (a) 障害者が障害に基づいて  ① 的な教育制度から排除されないこと及び障害のある児童が障害に基づいて無償のかつ義務的な初等教育から又は中等教育から排除されないこと。
- (b) 障害者が、他の者との平等を基礎として、自己の生活する地域社会において、障害者を  ② し、質が高く、かつ、無償の初等教育を享受することができること及び中等教育を享受することができること。
- (c) 個人に必要とされる  ③ が提供されること。
- (d) 障害者が、その効果的な教育を容易にするために必要な支援を  ① 的な教育制度の下で受けること。
- (e) 学問的及び社会的な発達を最大にする環境において、完全な  ② という目標に合致する効果的で  ④ 化された支援措置がとられること。

[解答群]

- |   |      |      |         |      |
|---|------|------|---------|------|
| ア | ① 個別 | ② 包容 | ③ 合理的配慮 | ④ 一般 |
| イ | ① 一般 | ② 包摂 | ③ サービス  | ④ 個別 |
| ウ | ① 個別 | ② 包摂 | ③ サービス  | ④ 一般 |
| エ | ① 一般 | ② 包容 | ③ 合理的配慮 | ④ 個別 |

問題 2 次の各文は「教育基本法」(平成 18 年 12 月 22 日法律第 120 号)に関する説明である。誤っているものはどれか。次のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

ア 「教育基本法」は、昭和 22 年 3 月 31 日制定の教育基本法(昭和 22 年法律第 25 号)を改正して制定されたものである。

イ 「教育基本法」の制定を提言した答申は、臨時教育審議会第四次答申(1987 年)である。

ウ 「教育基本法」には、男女共学に関する条文がない。

エ 「教育基本法」には、政府は教育振興基本計画を策定し、公表しなければならないことが定められている。

問題 3 「学校教育法」(昭和 22 年 3 月 31 日法律第 26 号)の条文として誤っているものはどれか。次のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

ア 国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じなければならない。

イ 学校においては、別に法律で定めるところにより、幼児、児童、生徒及び学生並びに職員の健康の保持増進を図るため、健康診断を行い、その他その保健に必要な措置を講じなければならない。

ウ 市町村の教育委員会は、次に掲げる行為の一又は二以上を繰り返し行う等性行不良であって他の児童の教育に妨げがあると認める児童があるときは、その保護者に対して、児童の出席停止を命ずることができる。

エ 特別支援学校には、寄宿舎を設けなければならない。ただし、特別の事情のあるときは、これを設けないことができる。

問題 4 以下の「いじめ防止対策推進法」(平成 25 年 6 月 28 日法律第 71 号)の条文として誤っているものはどれか。次のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

ア この法律において「いじめ」とは、自分より弱い者に対して一方的に、身体的・心理的な攻撃を継続的に加え、相手が深刻な苦痛を感じているものをいう。

イ 児童等は、いじめを行ってはならない。

ウ 学校の教職員、地方公共団体の職員その他の児童等からの相談に応じる者及び児童等の保護者は、児童等からいじめに係る相談を受けた場合において、いじめの事実があると思われるときは、いじめを受けたと思われる児童等が在籍する学校への通報その他の適切な措置をとるものとする。

エ 学校は、いじめ防止基本方針又は地方いじめ防止基本方針を参酌し、その学校の実情に応じ、当該学校におけるいじめの防止等のための対策に関する基本的な方針を定めるものとする。

問題 5 日本の教育委員会制度に関する記述として誤っているものはどれか。

次のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

ア 教育は地域住民にとって身近で関心の高い行政分野であり、専門家だけでなく、広く地域住民の意向を踏まえて行われることが必要だという考え方に依拠している。

イ 教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関であり、学校教育にとどまらず、生涯学習、教育、文化、スポーツ等の幅広い施策を展開する。

ウ 教育委員会制度は、教育行政における「政治的中立性の確保」、「継続性、安定性の確保」、「地域住民の意向の反映」という意義を有する。

エ 教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる教育行政機関であり、教育の安定性を確保するため、首長と同じ党派に属する者が委員を務めることになっている。

問題 6 『小学校学習指導要領』（平成 20 年文部科学省告示第 27 号）の内容として正しいものを，次のアからエまでのうちから一つ選び，その記号で答えなさい。

- ア 特別活動の目標は，望ましい集団活動を通して，心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り，集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的，実践的な態度を育てるとともに，自己の生き方についての考えを深め，自己を生かす能力を養うことにある。
- イ 総合的な学習の時間の一環として遠足・集団宿泊的行事があり，自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて，見聞を広め，自然や文化などに親しむとともに，人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことが目指されている。
- ウ 小学校 1・2 年生の外国語活動においては，日本と外国の言語や文化について，体験的に理解を深めることができるよう，外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに，日本語との違いを知り，言葉の面白さや豊かさに気付くことが第一の目標とされている。
- エ 学校における特別活動は，学級活動の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり，各教科，外国語活動，総合的な学習の時間のそれぞれの特質に応じて，児童の発達の段階を考慮して，適切な指導を行わなければならない。

問題 7 現在の学校・家庭・地域の関係に関する記述として誤っているものを、次のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

ア PTA は、父母と教師が協力して「開かれた学校」をつくるための審議機関として、現在、全ての学校に設置されている。

イ 学校評議員は、当該学校の職員以外の者で教育に関する理解及び識見を有するもののうちから委嘱されるもので、校長の求めに応じ、学校運営に関し意見を述べることができる。

ウ 学校運営協議会は、保護者や地域住民などから構成され、学校運営の基本方針を承認したり、教員の任用に関して教育委員会に意見を述べたりすることができる。

エ 小学校は、保護者及び地域住民等の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供するものとされている。

問題 8 日本の学校教育に関係する記述として誤っているものを、次のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

ア 不登校児童生徒が学校外の施設において指導等を受けている場合、これらの児童生徒の努力を学校として評価し支援するため、一定の要件を満たす場合に、当該施設において指導等を受けた日数を指導要録上「出席扱い」とすることが可能となっている。

イ 教員免許状は「普通免許状」、「特別免許状」、「臨時免許状」の3種類あり、いずれも都道府県教育委員会によって授与される。「普通免許状」と「特別免許状」は10年間有効とされているが、「臨時免許状」の有効期間は3年間である。

ウ 都道府県教育委員会の中に設置された教科用図書検定調査審議会は、検定申請された図書が教科用図書として適切であるかどうかについて調査審議を行う。その結果を参考にして都道府県ごとに教科書の採択が行われる。

エ 学校における体育・健康に関する指導は、児童の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとされている。

問題 9 次のA群の各文は、主要な教育プランについて説明したものである。

それらの教育プランの名称について、適切な組合せを、B群のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

[A 群]

- ① ウォッシュバーン (Washburne, C. W.) によって提唱された。教育課程を基本教科 (読み書き計算) と社会的・創造的活動に分け、前者では個別指導による学習内容の習得が、後者では集団学習による子供の社会化が目指された。
- ② パークースト (Parkhurst, H.) によって指導された。自由と協同を基本原理とするが、個別学習法として普及した。日本にも大正時代に紹介され、成城小学校や明星学園などで実践された。
- ③ ペーターゼン (Petersen, P.) によって取り組まれた。年齢別学年学級を廃止し、知的な発達段階や人間性などのトータルなバランスを考慮した基幹集団を編成し、その中で、子供たちが自らの興味・関心に応じた自由な学習や活動を行い、生活共同体の中の学習を通して社会性を育成することが目指された。

[B 群]

- |   |             |             |
|---|-------------|-------------|
| ア | ① イエナ・プラン   | ② ドルトン・プラン  |
|   | ③ ウィネトカ・プラン |             |
| イ | ① ウィネトカ・プラン | ② イエナ・プラン   |
|   | ③ ドルトン・プラン  |             |
| ウ | ① ドルトン・プラン  | ② ウィネトカ・プラン |
|   | ③ イエナ・プラン   |             |
| エ | ① ウィネトカ・プラン | ② ドルトン・プラン  |
|   | ③ イエナ・プラン   |             |

問題10 次のA群には人名が、B群には人名に関する教育観を示した言葉が示されている。下のアからエまでの組合せのうちから誤っているものを一つ選び、その記号で答えなさい。

[A 群]

[B 群]

- ア コメニウス (Comenius, J. A.) …… 「あらゆるひとに、あらゆる事柄を教授する普遍的な技法を提示する大教授学」
- イ ヘルバルト (Herbart, J. F.) …… 「私は、この際、教授のない教育などというものの存在を認めないしまた逆に、少なくともこの書物においては、教育しないいかなる教授もみとめない」
- ウ デュルケム (Durkheim, É.) …… 「教育の最大の秘訣は、教育しないところに隠れている」
- エ イリイチ (Illich, I.) …… 「教育ばかりでなく、現実の社会全体が“学校化”されてしまっている」

問題11 次の文中の  に当てはまるものを、下のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

ルソー (Rousseau, J. J.) は、著書『エミール』において、「万物をつくる者の手をはなれるときすべてはよいものであるが、人間の手につるとすべてが悪くなる」と述べて、初期の教育は純粋に  的でなければならないことを論じた。

- ア 積 極
- イ 厳 罰
- ウ 放 任
- エ 消 極

問題12 次のA群は、日本の教育に関する歴史的な出来事が示されている。それらの出来事について、歴史的に古い順に正しく配列されているものをB群のAからEまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

[A 群]

- ① 「教育ニ関スル勅語」が発布された。
- ② 「学事奨励に関する被仰出書」が頒布された。
- ③ 初代文部大臣に森有礼が任命された。
- ④ 国民学校令が公布された。

[B 群]

- A ② → ③ → ④ → ①
- I ② → ③ → ① → ④
- U ③ → ② → ① → ④
- E ③ → ② → ④ → ①

問題13 次の文章は、ある思想家の教育に対する考え方について説明したものである。その説明と最もよく合致する人物を、下のアからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

王者も貧者も本質的には平等であるとの考え方に立ち、貧民の子供たちの自立への教育論を展開した。また彼自身もその信念に従って、貧しい子供たちへの教育に尽力した。彼は人間の中にある力を大切に、「心」「頭」「手」が調和よく発達することによって人格形成が図られると考えていた。

- ア ペスタロッチ (Pestalozzi, J. H.)
- イ デューイ (Dewey, J.)
- ウ ルター (Luther, M.)
- エ カント (Kant, I.)

問題14 次の各文は、子供の貧困に関する記述である。次のアからエまでのうちから不適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

ア 2014（平成26）年に公表された経済協力開発機構（OECD）の統計によると、日本の子供の相対的貧困率は、OECD加盟国の平均よりも高くなっている。

イ 厚生労働省の「国民生活基礎調査（平成21年）」の結果を見ると、子供がいる現役世帯のうち、大人が1人の世帯の相対的貧困率は、大人が2人以上いる世帯の相対的貧困率にほぼ等しい。

ウ 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」（平成25年6月26日法律第64号）の目的は、子供の将来が生まれ育った環境によって左右されることがないように、貧困の状況にある子供が健やかに育成される環境を整備するとともに、教育の機会均等を図るため、子供の貧困対策を総合的に推進することにおかれている。

エ 子供の貧困対策の一つである「就学援助」は、「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない」とする「学校教育法」（昭和22年3月31日法律第26号）の規定に根拠を置いている。

問題15 次の文章は、平成25年6月14日に閣議決定された国の「第2期教育振興基本計画」についての説明である。□に入る語句の組合せとして正しいものを、下の解答群アからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

教育基本法に基づき策定された「第2期教育振興基本計画」では、これからの社会の方向性として、「自立」「□①」「創造」の三つを基軸とした新たな社会モデルを実現するための生涯学習社会の構築が謳<sup>うた</sup>われている。さらに、その実現に向けて、以下の四つの教育行政の基本的方向性が打ち出されている。

- 1 □②の養成
- 2 未来への飛躍を実現する人材の養成
- 3 学びの□③の構築
- 4 絆<sup>きずな</sup>づくりと活力あるコミュニティの形成

[解答群]

- |   |      |            |            |
|---|------|------------|------------|
| ア | ① 協働 | ② 社会を生き抜く力 | ③ セーフティネット |
| イ | ① 競争 | ② グローバル人材  | ③ 共同体      |
| ウ | ① 協働 | ② グローバル人材  | ③ セーフティネット |
| エ | ① 競争 | ② 社会を生き抜く力 | ③ 共同体      |

問題16 次のA群には、教育達成に階層間格差が生ずる理由について説明した人物が、B群にはその説明において鍵となる用語が示されている。下のアからエまでの組合せのうちから不適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

[A 群]

[B 群]

- ア コールマン (Coleman, J. S.) …………… ソーシャル・キャピタル  
イ ブルデュー (Bourdieu, P.) …………… ハビトゥス  
ウ ボウルズ (Bowles, S.) …………… IQ  
エ バーンステイン (Bernstein, B.) …… 言語コード

問題17 次の各文は、生徒文化に関する記述である。次のアからエまでのうちから不適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

- ア 生徒文化は、学業成績や進路など、学校における生徒の社会化及び選抜・配分の結果に影響を及ぼしている。  
イ 生徒文化は、学校の公式的な教育目標の達成を、阻害したり促進したりする機能を果たしている。  
ウ 「向学校下位文化」や「反学校下位文化」など、生徒文化には幾つかの類型があることが指摘されている。  
エ 生徒文化は、家族や地域社会など、担い手である生徒の社会的背景から独立して形づくられている。

問題18 次の各文は、「図書館法」(昭和25年4月30日法律第118号)による規定について述べたものである。次のアからエまでのうちから誤っているものを一つ選び、その記号で答えなさい。

ア 学校に附属する図書館又は図書室は、「図書館法」が規定する図書館から除かれている。

イ 「図書館法」が規定する図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を「公立図書館」、日本赤十字又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を「私立図書館」という。

ウ 図書館法に規定された「図書館」の目的は、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資すること」である。

エ 公立図書館も、私立図書館も、入館料その他図書館資料の利用に対する対価を徴収することができる。

問題19 社会行動について述べた次の各文のうち不適切なものを、アからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

ア 観察者が行為の原因を行為者の内的属性に求めようとする一方で、行為者自身は自分の行為の原因を外部に求める傾向があることを、行為者と観察者の帰属のズレと呼ぶ。

イ 信憑<sup>びよう</sup>性の低い送り手からのメッセージであっても、一定の時間が経過して送り手の印象が薄れると、内容次第で説得効果が効いてくることをスリーパー効果と呼ぶ。

ウ 成功するか失敗するか確信がもてない状況で、自分に不利な条件があることを他者に主張したり、不利な条件を自ら作り出してしまふことを、ピグマリオン効果と呼ぶ。

エ 自分のもっている知識のあいだに不一致が存在し、その不一致が心理的に不快な状態を生じさせている状況を、認知的不協和と呼ぶ。

問題20 次の文章はある人物について述べたものである。下のアからエまでのうちから最もよく合致する人物を一人選び、その記号で答えなさい。

1933年にアメリカに亡命する。そこで、彼は精神分析家として受け入れられるとともに、多数の傑出した心理学者や文化人類学者と交流をもち、彼の学際的な著作の基となる知見を深める。この間、分析治療のほかに、様々な調査を行う。文化人類学者と共同で行った、アメリカ・インディアンの調査研究、子供の遊びの研究等の成果は、『幼児期と社会』（1950）にまとめられている。彼の人格理解の集大成は、ライフサイクル論という形でまとめられた。

- ア エリクソン (Erikson, E. H.)
- イ ロジャーズ (Rogers, C. R.)
- ウ フロイト (Freud, S.)
- エ バンデューラ (Bandura, A.)

問題21 感情について述べた次の各文のうち最も適切なものを、アからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

- ア 表情は性別や文化によって異なり共通性がないため、表情を伴う顔写真を見てもそこから感情を読み取ることは不可能である。
- イ 人はほぼつねに自分の感情を強調したり抑えたりするなどして制御しており、その能力は社会的な成功を予測することが知られている。
- ウ 攻撃行動の映像の視聴は、大人も子供も同じように、カタルシス効果をもつため、実際の攻撃行動を抑制する効果がある。
- エ ネガティブな感情は、人の思考や行為の幅を広げ、より創造的かつ柔軟な行動を導くことが知られている。

問題22 次のA群の記憶に関する説明文について、正しいものを○、正しくないものを×とするとき、下のB群のアからエまでのうちから適切な組合せを一つ選び、その記号で答えなさい。

[A 群]

- ① 記憶の過程に含まれる記銘、保持、想起のうち、1日前に出会った人の名前を直前まで覚えていたが、会った瞬間に名前がでてこない状況は、主に想起の失敗と考えられる。
- ② 記憶の想起に含まれる再生、再認、再構成のうち、与えられた選択肢の中から正しいものを選ぶという問題は、再生課題と呼ばれる。
- ③ ある事物・事象がどのようなものであるかという記憶をエピソード記憶と呼ぶ。
- ④ 情報を長期に保持するための有効な方法として、関連した情報を付加し、内容をより豊富にするような仕方を、維持リハーサルと呼ぶ。

[B 群]

- |   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
| ア | ①○ | ②× | ③○ | ④○ |
| イ | ①○ | ②○ | ③× | ④○ |
| ウ | ①× | ②○ | ③○ | ④× |
| エ | ①○ | ②× | ③× | ④× |

問題23 次のA群には人名が書かれている。①から④の人名と関係の深い用語をB群から探し、その組合せとして正しいものを、下の解答群アからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

[A 群]

- ① シュプリンガー (Spranger, E.)
- ② ホリングワース (Hollingsworth, L. S.)
- ③ レヴィン (Lewin, K.)
- ④ ホール (Hall, G. S.)

[B 群]

- a 疾風怒濤
- b 自我の発見
- c 周辺人
- d 心理的離乳

[解答群]

- |   |      |      |      |      |
|---|------|------|------|------|
| ア | ①— a | ②— b | ③— c | ④— d |
| イ | ①— b | ②— d | ③— a | ④— c |
| ウ | ①— b | ②— d | ③— c | ④— a |
| エ | ①— b | ②— c | ③— d | ④— a |

問題24 次の文中の  に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下の解答群アからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

レッパー (Lepper, M. R.) らによる動機づけの実験では、子供が  ① によって課題に取り組んでいるときに、  ② を与えて  ③ を操作すると、高かった  ① が低下する事態が生じることが明らかにされている。このことは  ④ と呼ばれている。

〔解答群〕

- |   |           |               |
|---|-----------|---------------|
| ア | ① 内発的動機づけ | ② 報酬          |
|   | ③ 外発的動機づけ | ④ アンダーマイニング効果 |
| イ | ① 外発的動機づけ | ② 罰           |
|   | ③ 内発的動機づけ | ④ アンダーマイニング効果 |
| ウ | ① 内発的動機づけ | ② 罰           |
|   | ③ 外発的動機づけ | ④ エンハンシング効果   |
| エ | ① 外発的動機づけ | ② 報酬          |
|   | ③ 内発的動機づけ | ④ エンハンシング効果   |

問題25 次の各文は、葛藤について述べたものである。次のアからエまでのうちから誤っているものを一つ選び、その記号で答えなさい。

ア 希望していた外国の高校への留学試験に合格したが、自宅を離れて生活習慣の異なる外国で寮生活をするのが怖くなって、留学について迷っている場合を、接近一回避型葛藤と呼ぶ。

イ 接近一接近型葛藤は、異なる二つの目標がそれぞれ等しい負の誘意性を持っている場合に生じやすく、回避一回避型葛藤は異なる二つの目標がそれぞれ等しい正の誘意性を持っている場合に生じやすい。

ウ 物理のテストと化学のテストがどちらも次の日にあるが、どちらも嫌いな科目であるために、どちらの勉強もしたくないといった場合を、回避一回避型葛藤と呼ぶ。

エ どちらも進学率の高さで有名な私立の名門校と公立の伝統校の二つに合格し、どちらにも入学したいような場合を、接近一接近型葛藤と呼ぶ。

問題26 生徒数 10 名のクラスを、5 人ずつ X 班と Y 班の 2 班に分けてテストを行ったところ、各生徒のテスト得点は以下ようになった。

X 班：30, 30, 70, 80, 90

Y 班：50, 60, 60, 60, 70

A 群はこのテスト結果について書かれた文と統計用語について書かれた文からなり、適切な内容と不適切な内容が含まれている。B 群には、適切な内容を○で表し、不適切な内容を×で表した組合せが示されている。B 群に示されているアからエまでのうちから正しいものを一つ選び、その記号で答えなさい。

[A 群]

- ① X 班の平均点は、Y 班の平均点よりも高い。
- ② X 班の標準偏差は、Y 班の標準偏差よりも大きい。
- ③ テスト得点が正規分布に従う場合、平均を  $m$ 、標準偏差を  $s$  とすると、 $m - s$  から  $m + s$  までの範囲に全体の約 95 % の人が含まれる。
- ④ 分散は、標準偏差を二乗した量である。

[B 群]

- |   |    |    |    |    |
|---|----|----|----|----|
| ア | ①× | ②× | ③○ | ④○ |
| イ | ①× | ②○ | ③× | ④○ |
| ウ | ①○ | ②× | ③○ | ④× |
| エ | ①× | ②○ | ③○ | ④× |

問題27 次の文章は、『生徒指導提要』（平成22年3月）の一部である。文章中の  に入る語句の組合せとして正しいものを、下の解答群アからエまでのうちから一つ選び、その記号で答えなさい。

不登校の解決に当たっては、「 ① の問題」としてのみとらえるのではなく、広く「 ② の問題」としてとらえることが大切です。ここでいう「 ② の問題」というのは、(略) 不登校の児童生徒が一人一人の個性を生かし社会へと参加しつつ充実した人生を過ごしていくための道筋を築いていく活動への援助をいいます。つまり「 ② の問題」とは、「 ③」に向けて自らの進路を主体的に形成していくための生き方支援」と言い換えることもできるでしょう。

他方、具体的な進路指導においては、不登校児童生徒が自らの進路を主体的にとらえるために、多様な中学・高等学校教育制度の情報を提供することも重要になっています。それと同時に、増加しつつある  ④ に対しても、新たな進路を開拓するために多角的な視野からの援助や指導が必要とされます。このように学校には、社会に児童生徒を送り出していく準備をする機関としてのより広い役割が求められているといえます。

〔解答群〕

- |   |      |      |         |         |
|---|------|------|---------|---------|
| ア | ① 心  | ② 進路 | ③ 社会的自立 | ④ 中途退学者 |
| イ | ① 心  | ② 自立 | ③ 精神的自立 | ④ ニート   |
| ウ | ① 発達 | ② 自立 | ③ 社会的自立 | ④ 中途退学者 |
| エ | ① 発達 | ② 進路 | ③ 精神的自立 | ④ ニート   |

問題28 次のA群には人名が、B群には人名についての説明文が示されている。下のアからエまでの組合せのうちから不適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

[A 群]

[B 群]

ア アドラー

(Adler, A.) …… フロイト (Freud, S.) の性欲説を批判し、精神分析的立場から離れ、「個人心理学」を提唱した。児童のガイダンスに興味をもち、ウィーンの学校制度として児童ガイダンスの診療所を設立した。

イ キャッテル

(Cattell, J. M.) …… コロンビア大学の新入生にメンタル・テストを実施した。これは、ヴント (Wundt, W.) の研究室で学んだ精神物理的測定法を新しい意味で発展させ、精神測定学ともいわれるべきものである。

ウ クレペリン

(Kraepelin, E.) …… クライエントの示す兆候と経過に従って精神病を早発性痴呆 (統合失調症)、躁うつ病、てんかんとに三大別した。また、精神病者の示す性格特徴の分析から進んで、作業検査タイプの人格テストを考案した。

エ スキナー

(Skinner, B. F.) …… 消化腺の分泌の測定中に、動物は食物を期待するだけで唾液を分泌させることに気づき、これを条件反射と名付けた。条件反射はいわゆる反射とは異なり、その機制が中枢神経系にあることを明らかにした。

問題29 次のA群には教育相談で活用できる手法が、B群にはその説明が示されている。下のアからエまでの組合せのうちから不適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

〔A 群〕

〔B 群〕

- ア ライフスキルトレーニング …… 職業生活に焦点を当て、自己理解を図り、将来の生き方を考え、自分の目標に必要な力の育て方や、職業的目標の意味について明確になるようカウンセリング的方法でかかわる。
- イ ピア・サポート活動 …… 児童生徒の社会的スキルを段階的に育て、児童生徒同士が互いに支えあう関係を作るためのプログラム。「ウォーミングアップ」「主活動」「振り返り」という流れを一単位として、段階的に積み重ねる。
- ウ グループエンカウンター …… グループ体験を通しながら他者に出会い、自分に出会う。人間関係作りや相互理解、協力して問題解決する力などが育成される。集団の持つプラスの力を最大限に引き出す方法である。
- エ アサーショントレーニング …… 対人場面で自分の伝えたいことをしっかり伝えるためのトレーニング。「断る」「要求する」といった葛藤場面での自己表現や、「ほめる」「感謝する」「うれしい気持ちを表す」「援助を申し出る」といった他者とのかかわりをより円滑にする社会的行動の獲得を目指す。

問題30 次のA群には教育相談で用いるカウンセリング技法が、B群にはその具体例が示されている。下のアからエまでの組合せのうちから不適切なものを一つ選び、その記号で答えなさい。

[A 群]

[B 群]

- ア 傾 聴 …………… 「そう」「大変だったね」
- イ 明確化 …………… 「君としては、こんなふうに思ってきたんだね」
- ウ つながる言葉かけ …… 「待ってたよ」「緊張したかな」
- エ 感情の伝え返し …… 「君としてはこれからどうしようと考えている？」